

みんなが暮らしやすいまちへ



未来は  
地域で創る

ポイント  
1



これからのまちづくりを考えるとき…  
キーワードは「地域」です!

社会の状況

- 人口減少、少子化・高齢化
- 一人暮らしや高齢世帯の増加
- 生活スタイル・価値観の多様化

高齢になって、  
一人暮らしになると  
寂しいよね～

東北や熊本の  
震災では、ご近所の  
力が大きかったよな～

長崎でも…

最近は物騒だし、  
学校の登下校、  
うちの子は  
大丈夫かしら？

自分たちのまちは  
自分たちでよくする。  
長崎のまちをみんなで  
つくりましょう！

暮らしやすいまちであり続けるためには  
**地域の力がとても大切**



ポイント  
2



地域の力を高めるために、  
地域内の「連携」を進めよう!

## 目指す地域の姿

地域で決めて、地域で実行!

みんなが参加できる  
イベントをしよう

高齢者や子どもたちを  
見守ろう

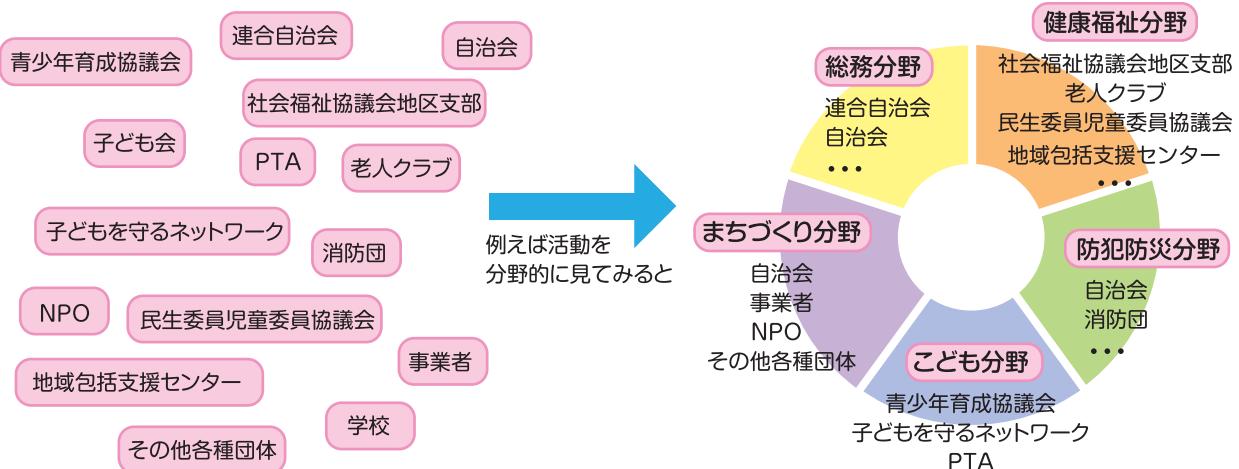
災害のときは  
助け合おう

まちを  
きれいにしよう



### 地域の団体を見てみると…

地域では色々な団体が目的に応じた活動をされています



\*地域の団体は他にも色々あります。

ポイント  
3

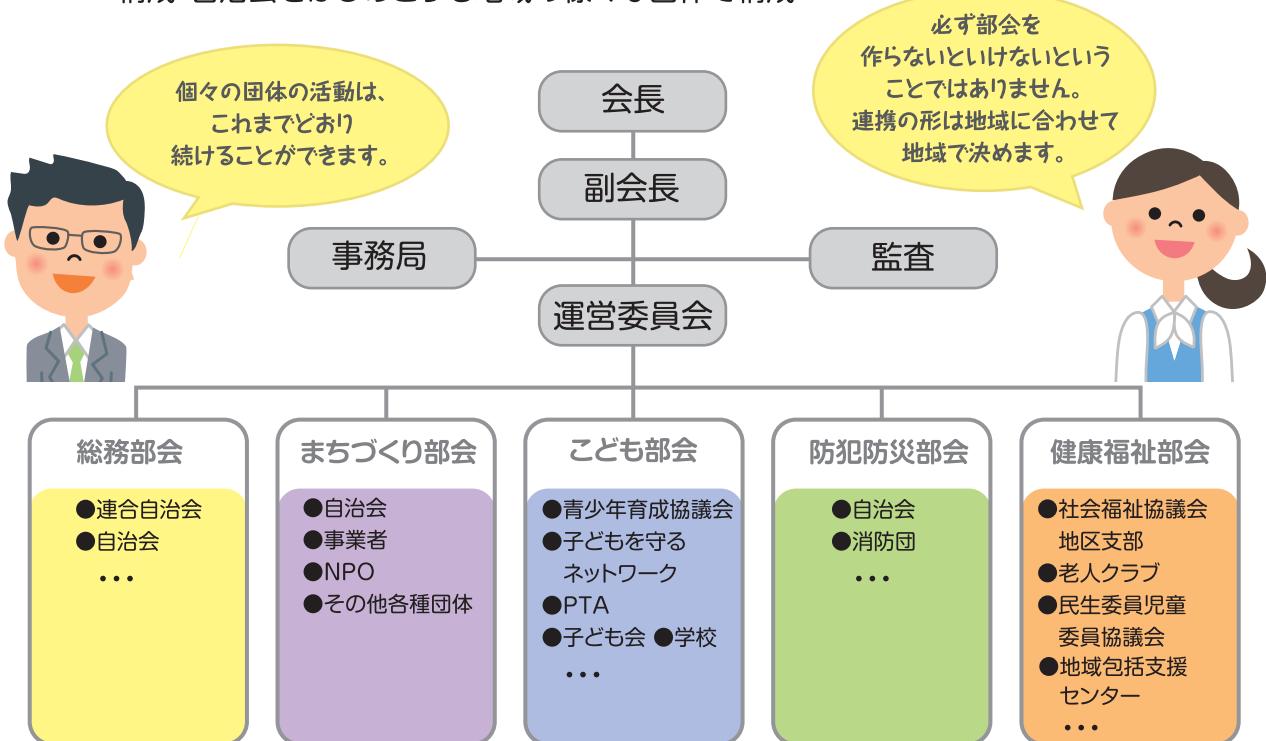


もっと暮らしやすい地域をみんなで  
実現していくためのしくみだよ!

## (仮称) 地域コミュニティ連絡協議会

範囲: 概ね現行の小学校区または連合自治会の区域

構成: 自治会をはじめとする地域の様々な団体で構成



※この組織図はイメージです

地域には  
こんな  
メリットが!

- 情報が地域全体にいきわたるようになります
- 他の団体同士が協力することで、地域でできることが増えます
- それぞれの団体が役割分担することで、負担が軽くなります
- 新しい人材の発掘が期待できます

市役所も  
3つの視点で  
応援します



人

- 話し合う文化の醸成
- リーダーの発掘・育成
- 市職員によるまちづくりの支援

拠点

- 地区公民館のふれあいセンターへの移行
- 公共施設の活用についての相談

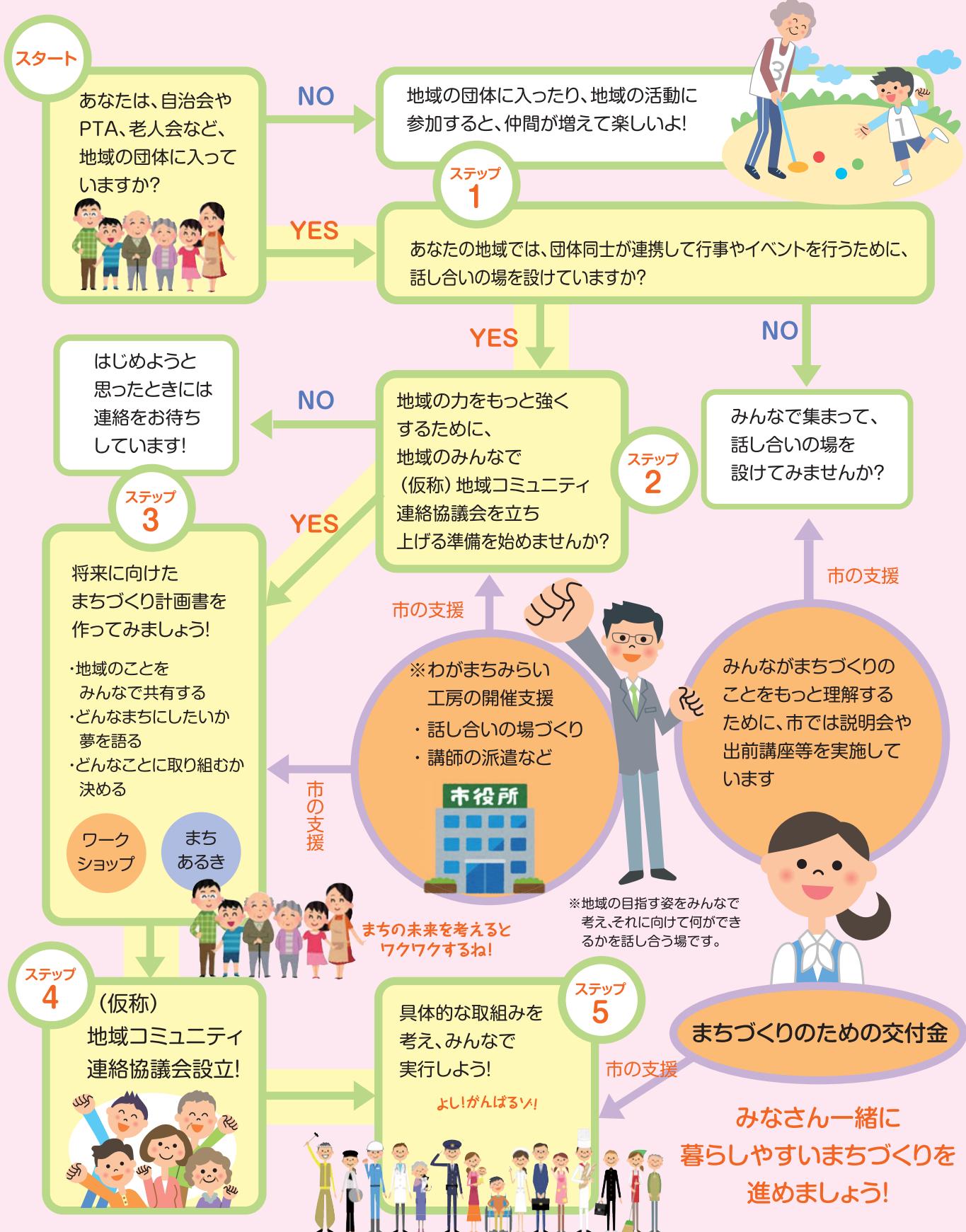
資金

- 地域のまちづくり計画に沿った  
使いやすい交付金制度の創設



# まちを暮らしやすくするための 5つのステップ

あなたはどのステップからはじめますか？



# もっと教えて!

## (仮称) 地域コミュニティ連絡協議会って?



Q. 今ある団体の活動はどうなるの?

基本的には、個々の団体の活動は、これまでどおりです。



Q. そもそも『地域』って  
どこのこと?

原則、現行の小学校区または連合自治会の区域を地域の範囲と考えています。

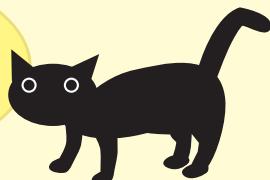


Q. 今も複数の団体との  
ネットワークがあるのに、またその上に組織を作るの?

例えば、青少年育成協議会などの既存の団体が、地域全体の課題の把握や活動を行っていただいている場合は、その組織を母体につくることもできます。



詳しくは、  
地域コミュニティ推進室  
《Tel.095-829-1283》まで



Q. 連合自治会とは  
どう違うの?

連合自治会は、地域コミュニティの中核を担う自治会の集まりとして活動していただいている。(仮称) 地域コミュニティ連絡協議会は、自治会のほかにも各種団体、企業などにも参画いただきたいと思っています。もちろん、現在でも連合自治会がそのような組織体となっているのであれば、(仮称) 地域コミュニティ連絡協議会になることも可能です。

Q. わざわざ(仮称) 地域  
コミュニティ連絡協議会に  
する必要ある?

地域全体としての意思決定を行い、交付金の受け手になっていただきたいことなどから、組織としての形をとっていただきたいと考えています。

Q. いつまでに作らなきゃ  
いけないの?

地域によって状況が違いますので、実情に合わせて進めなければと思います。それぞれの地域にとって活動しやすい仕組みになるように、市が準備協力や運営支援などを行います。